

茎数は少なめだが圃場間差大!! 生育診断を実施して適期穂肥をお願いします

1. 幼穂形成期・出穂期予想と穂肥施用のめやす【長岡地域振興局発表】

- 幼穂形成期・出穂期は平年に比べ1～2日程度早くなる見込み。
- 1回目穂肥は遅れずに施用し、基肥一発肥料でも、葉色の低下がみられる場合は追肥を実施しましょう。
- 圃場間差が大きいので、幼穂確認を行って施用を行ってください。

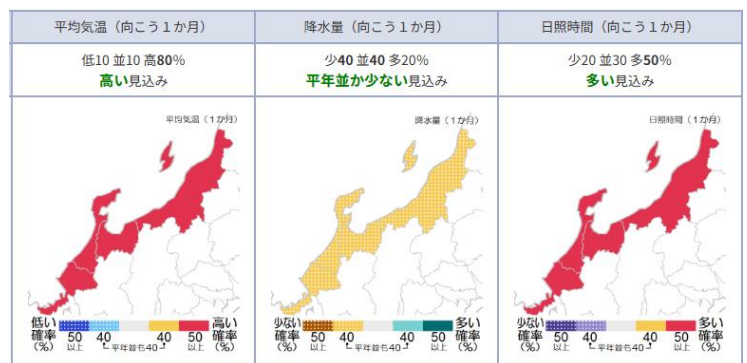
品 種	幼 穂 形成期	出穂期	穂肥 1 回目			穂肥 2 回目		
			施用時期	出穂前 日 数	窒素量 (kg/10a)	施用時期	出穂前 日 数	窒素量 (kg/10a)
ゆきん子舞	6/28	7/21	6/26～6/28	25～23	3.0	7/7	14	2.0
つきあかり	6/27	7/20	6/25～6/27	25～23	2.5	7/6	14	2.5
こしいぶき	6/30	7/23	6/30	23	1.0	7/8	14	1.5
新潟次郎	6/21	7/14	6/19～6/21	25～23	3.0	7/1	14	3.0
わたぼうし	6/26	7/19	6/27～6/30	22～20	1.0～1.5	7/7～7/9	12～10	1.0～1.5

穂肥を多量に施用したり、時期が早すぎたりすると、初数過剰や登熟歩合の低下等が起こるため、適期に適量を施用しましょう。

コシヒカリ・こがねもちの幼穂形成期、出穂期については7/3 売れる米づくり技術情報No.5でお伝えします

2. 今後の気象状況について

- 6月19日気象庁発表の長期予報では暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は高い見込みです。
- 降水量は平年並か少なく、日照時間は多くなる見込みです。
- 今後の気象予想も注視していただき適切な肥培管理をお願いします。



3. 病虫害発生状況について

- いもち病感染好適日を示すBLASTAMにて、6月11日に三条市で感染好適日の条件が発生しております。湿潤時間が長く25℃を超える日になるといもち病の感染好適日になりますので、弱い品種(わたぼうしや新之助)では見歩きを行い早期発見・早期防除に努めてください。
- 6/20 と 6/24 に管内病虫害予察調査を実施しております。畦畔すくい取り調査にてカメムシの発生が多くの圃場で確認されております。出穂期に向けてカメムシ被害を減らすためにも、畦畔農道の草刈りの徹底をお願いいたします。